

ぞう組 テーマ：「うまれる」

R.7 7月～9月

ぞう組では、カブトムシから卵が生まれそこからの成長や、おたまじやくしからカエルになるまで毎日観察しました。そして、自分は何処から産まれたのか、大人にも子どもの時があったのかなど様々な産まれてからの、成長に興味をもって楽しんで来ました！

カブトムシの成長とお世話



卵あったよ

カブトムシが卵を産むと死んでしまうことを知った子ども達、最初は「暑かったのかな」「水分不足かな」「ゼリー食べすぎたかな」などサークルタイムで話していましたがほんとのことを教えると、すぐびっくりしていました。「土に埋めてあげる」とぞう組しか知らない場所に埋めました。そこから、「卵は大事にお世話しないとね」という声が聞こえました。



カブトムシ一緒の
見つけた

カブトムシはスイカ食べないね

ちょうちょの卵
と似てる

卵から

うんこでおなか
黒いねんで

カブトムシの
皮や

離乳食やん

歯がないから固いの食べれないからやわらかいんやで

今ぞう組で育て
ている幼虫で
す、今土にもぐ
り、冬を越す準
備をしています

皮脱いでから大
きくなってる！

頭白い

オタマジャクシからかえるへ



オタマジャクシ
ちっちゃ！



足がはえたよ！



手がはえてる！



毎日オタマジャクシを観察していた子ども達、オタマジャクシから手や足が出てくるのを嬉しそうに見ていました。「でもしっぽがなくならないから、カエルになれないんちゃうん」と言っていてそこからまた毎日観察していると、休み明けにしっぽがなくなっていて、「うわ！しっぽない！」「おちてるのかな」と水の中を探したり、カエルを手に乗せてしっぽを探していました。そこでサークルタイムでカエルの成長の動画を見て、時間が立つと自然になくなっていることに気づき目を輝かせていた子どもたちでした。

カエルになったよ



自分はどこから生まれたの



カブトムシは卵から、カエルも卵から赤ちゃんが生まれることを知って、「じゃあ、みんなはどこからうまれたのかな」と話になり、「ママのお腹」「お父さんのおなかやで」などそれぞれに知っていることを言っていました。そこで、「おへそのあな」の絵本を読み、お母さんから生まれることを知りました。そこで、赤ちゃんはどうやって大きくなるのかと聞いてみると、「おっぱいかミルクで大きくなるねん」「歯がないからごはん食べれないねん」などが出たので、ひよこ組の赤ちゃんがどんなごはんを食べているのか見に行きました。自分たちが食べているのと全然違うことに驚き、「やっぱり歯ないやん」「大きくなったらはえるかな」などの言葉が出ていました。

お部屋でもお世話あそびをしていて、離乳食を作ったり、オムツを替えてあげる姿、泣いたら抱っこをしたりと大人になりきっていました。

